

新たなまちづくりが
スタート

匠瑛市の3代目市長として市政の舵取りを担わせていただくこととなりました宮内でございます。太田前市長から受け継ぎましたバトンとともに、今月号より「市政の窓」から「市長のつぶやき」として、私の思ったこと、感じたこと、時事問題などあれこれ思い浮かぶままに書きつづけてまいりますので、ご一読いただければ幸いです。

2月28日の初登庁から、早いもので1カ月が経過し、この間、新任のごあいさつや各課の主要事業のレクチャーを受けながら、就任後初となる議会にも臨ませていただきました。同じ議場で市議会議員時代とは一味違った空気を感じながら、かなり緊張した面持ちであったかと思えます。3月定例会は別名予算議会とも呼ばれ、新年度に向けた市全体の予算が審議されますが、提出した議案はすべてご可決いただき、新年度を無事に迎える準備が整い安堵するとともに、議会のご理解に感謝しております。

なお、私が掲げます「まちづくりビジョン」や「重点施策」に係る新たな施策の展開につきましては、現在、庁内で準備検討を進めているところであり、今後、補正予算においてお示しをさせていただきたいと考えております。併せて皆様の声を伺い、現場へも出向いてまいりますので、その際はよろしくお願いいたします。

また、今議会では議員発議により「ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する非難決議」が全会一致で採決されました。ロシアによるウクライナへの武力侵攻は、決して許されるものではありません。この行動は国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かす行動であり、断じて容認できるものではなく、私も強く非難するものです。これ以上の犠牲が拡大しないよう、国際社会の協力により、まずは一日も早い停戦合意を望むものであります。

さて、市内でも桜が開花し、春本番となりました。依然として新型コロナウイルスの影響により市内各行事も本開催とはなりません。皆様がお読みになる頃には、感染者数も落ち着き、感染対策を取りながらそれぞれに春を感じておられることと期待を込めまして、初稿の結びとさせていただきます。

匠瑛市長 宮内康幸

小高を歩く

黄門桜五十年

黄門桜が広く知られるようになったのは40年ほど前、昭和50年代後半からと記憶しています。

それ以前から周辺地域で黄門桜と呼ばれていた古木が枯れてしまうのではないかと、この心配がありました。そうした中、保存を願う飯高寺関係者が同寺文書から黄門桜に関する記載を見つけ、1973（昭和48）年天然記念物として市文化財の

指定を受け、保存対策が取られました。保存処理の痕跡は幹の部分に見られます。

1975（昭和50）年に飯高寺建造物含む境内が千葉県指定文化財、講堂など4棟は1980年国重要文化財となりました。これをきっかけに来訪者も多くなり、飯高檀林跡の説明に黄門桜も加えられました。

黄門桜の由来については、何度かこの欄で紹介しましたが、1803（享和3）年の飯高寺文書にこう書かれています。

「水戸黄門様より御意にて下総国佐原（現在の香取市佐原）より飯高檀林まで並木として松桜植えられ」とあり、1699（元禄12）年春、



市指定文化財の黄門桜

匠瑛探訪
191

のこととされます。それではいったい誰が植えたのでしょうか。

1966（昭和41）年発行の『佐原市史』に興味深い記載が見られます。「水戸黄門様飯高檀林御参詣記」に、佐原の伊能権之丞が御意を受け、佐原村から飯高村までの沿道30カ村に植樹を依頼したことが由来とされています。飯高・妙福寺境内にも昭和から平成の代替わり頃まで「黄門お手植えの梅」が存在していました。

飯高寺の記録発見と『佐原市史』発行から50年余りの間に調査も進み、水戸黄門の下総飯高佐原への1698（元禄11）年と翌年の来訪は実現していないことも分かりました。それでも黄門桜の50年を振り返るとき、佐原の伊能権之丞と保存に尽くした飯高地区の功労者はこれからも語り継がれることでしょう。

（市文化財審議会委員・依知川雅一）

関秘書課広報広聴班

☎73・0080

文芸コーナー

短歌

依知川雅一推薦

ひこばえの紅色あざやかやわき葉よ
いずれ剪られる運命なるに

鈴木 和子

梅の花一輪二輪と色づきて

大木 洋一

吹く風に耐え東風を待ちおり

小川 一夫

草花はいつものように緑増す
何万年も変わることなく

木下 昌子

寝すごして夢のふところふんわりと
「死んでるのか」と夫の呼ぶ声

伊藤 英子

葉ぼたんの丈が伸びゆく春の日に
いつか祖国へウクライナの皆

鈴木 志子

うすれゆく父の匂ひのちゃんちゃんこ
だきしめねむる夢で会えたら

桑原 宏子

誕生日姉からもらうカードには
よく転ぶから気をつけてね、と

川口城司推薦

内視鏡の検査入院無事終へて
帰宅のわれを梅咲きて迎ふ

小川 知至

うす紅の八重の山茶花はらはらと
色広がりて庭の明るし

伊橋 良子

俳句

椿 和枝推薦

長閑さや雑魚舟戻る九十九里
紐を解く畳紙に花の匂ひかな

枯むぐら濡れて明るし春の雨
ものの芽の勢立たせて春の雨

巡り来る春や富山の葉売り
初桜赤らむ先に地藏堂

初桜赤らむ先に地藏堂
コロナ禍で過せし三年卒業す

田起しの泥の匂や春の川
梅の香や猫も欠伸の昼下り

川口城司推薦

逢いに行く印旛の郷の山桜
還暦の河津の桜目に浮かぶ

コロナ禍の桜見物冷え冷えと
天神山川柳友と花見する

孫衣装桜団子を舌包む
夜桜が二人の影を酔わせてる

庭先で母の風格似る桜
川口城司推薦

皆マスク誰かわからん記念写真
K国はこれも公約リアップ策

めでたさをコロナが隠す寅の年
勝又康之推薦

椿 謹二
江波戸京子
中村 九藏

佐久間美智子
土屋 秀雄
鶴澤 澄子

安藤 幸恵
野仲てつ幹
熱田真こと

石田 津

力作募集中

宛先：匝瑳市秘書課広報広聴班 〒2289-2198 匝瑳市八日市場ハ793番地2
☎73-0080 FAX73-1114



図書館だより

匝瑳市八日市場図書館 ☎73-3746 (17時まで)

●休館日…毎週月曜日、7日(木)

図書館カード

入園・入学の記念に図書館カードをつくりませんか。健康保険被保険者証など本人確認できるものがあれば、赤ちゃんでも登録できます。

児童書は貸し出しの冊数制限がありませんので、読み聞かせなどにご活用ください。

子ども読書の日

子どもの読書活動についての関心と理解を深め、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、4月23日は「子ども読書の日」と定められています。

また、4月23日から5月12日までの3週間は「こどもの読書週間」です。ご家庭でも、お子さんと一緒に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

児童コーナー

八日市場図書館には、児童向けの本を集めた児童コーナーがあります。

靴を脱いでゆっくり絵本を楽しめる「おはなしのへや」もありますので、ぜひご利用ください。

図書館ホームページはこちら
<https://www.library.sosa.chiba.jp>



おすすめの本

『あしたもオカピ』

齊藤倫/作 fancomi/絵 偕成社

“よつば月の夜には、動物たちの願いがなんでも叶う”動物園中の鍵を開けて歩き出したオカピ。いろんな願い事を持つ動物たちと会ううちに、あることに気がきます。シカやロバに似ている不思議な動物、オカピのお話。

『さくららら』

升井純子/文 小寺卓矢/写真 アリス館

私が咲く日は私が決める…。北海道北部の豪雪地に生きる1本のチシマザクラ“さくらちゃん”が主人公の写真絵本です。